

# グローバル・マネジメント特論Ⅱ

山田 晶子

4年 前期 マネジメント必修 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

「今、グローバル社会で求められている最も重要な課題は何か」を、社会潮流をベースとしつつ、ファッションビジネスの現場で起きているリアルな出来事から、構造化を試みます。今日の生活者にみる行動様式や、消費に対する意識変化を読み解き、事例研究やディスカッションにより、実感値を共有。ファッションビジネス環境において、企業に期待される役割、国際ビジネス事業を展開するために必要な企業内外に対する行動マネジメント戦略の在り方を探究していきます。

## ■到達目標（学修成果）

課題の背景や構造をつかみ、既存の組織やビジネスの枠組に捉われないこと、グローバル社会における変化に適応しながら、最適方法を導き出す考え方をトレーニングすることにより、グローバル・マネジメント実施への起業家能力を修得します。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目であり、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修専門科目です。

## ■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	イントロダクション グローバルマネジメントの実践課題の諸相	予習：シラバスの確認 授業内容：学ぶべき内容とベースの共有	復習 20分
2回	グローバル・マネジメント～実践への考え方とリソース① グローバル市場とビジネス文化	授業内容：異文化コミュニケーション 後半部グループディスカッション	復習 20分
3回	グローバル・マネジメント～実践への考え方とリソース② グローバル市場と商品戦略（1）	授業内容：《事例研究》CHANEL 足跡と考え方 後半部グループディスカッション	復習 20分
4回	グローバル・マネジメント～実践への考え方とリソース③ グローバル市場と商品戦略（2）	授業内容：マッキンゼーの7つのS 後半部グループディスカッション	復習 20分
5回	グローバル時代の戦略的経営① ＜考察＞グローバリゼーション	授業内容：「グローバリゼーション」の手法 後半部グループディスカッション	復習 20分
6回	グローバル時代の戦略的経営② グローバル企業の現在①	授業内容：《事例研究》インディテックス 後半部グループディスカッション	復習 20分
7回	グローバル時代の戦略的経営③ グローバル企業の現在②	授業内容：《事例研究》LVMH グループ 後半部グループディスカッション	復習 20分
8回	グローバル時代の戦略的経営④ 持続可能と今後のミッション	授業内容：SDGsを中心にミッション研究 後半部グループディスカッション	復習 20分
9回	社会潮流とグローバルマネジメント① 社会潮流と生活マインド・ファッションマインド	授業内容：ビジネスコンテンツ研究・考察① 後半部グループディスカッション	復習 20分
10回	社会潮流とグローバルマネジメント② 社会潮流と生活・ファッションへのキーワード	授業内容：ビジネスコンテンツ研究・考察② 後半部グループディスカッション	復習 20分
11回	グローバルマネジメントⅡ演習①/21世紀のファッションビジネス グループワーク（社会潮流共有～ファッションビジネスの芽）	授業内容：グループディスカッションによる 21世紀型ファッションビジネスの構築①	復習 20分
12回	グローバルマネジメントⅡ演習②/21世紀のファッションビジネス グループワーク（ファッションビジネス具現化への5W2H）	授業内容：グループディスカッションによる 21世紀型ファッションビジネスの構築②	復習 20分
13回	グローバルマネジメントⅡ演習③/21世紀のファッションビジネス グループワーク（アントレプレナーシップ醸成とFB深掘り）	授業内容：グループディスカッションによる 21世紀型ファッションビジネスの構築③	復習 20分
14回	グローバルマネジメントⅡ演習④/21世紀のファッションビジネス グループワーク（時代性、企業のミッション）	授業内容：グループディスカッションによる 21世紀型ファッションビジネスの構築④	復習 20分
15回	グローバルマネジメントⅡ演習⑤ プレゼンテーション 学習内容のまとめ（振り返り、ポイント解説）	授業内容：フィードバック 講評から、全体観とポイントの整理	復習 20分

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

演習形式のレポート実施（期中・期末）により、学習状況の確認と講評を行ないます。

## ■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## ■教科書

指定教科書はなし。毎回、学習資料を配布します。

授業形態は「配布資料を基にパワーポイントで講義～グループディスカッション」となります。

## ■参考文献

授業に関連した参考文献を随時紹介します。

## ■オフィスアワー・研究室

ファッションビジネスマネジメント研究室（第4校舎3階/授業終了後）

## ■備考

毎回、配布する学習資料を持参してください。

授業の進行状況により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

# 店舗開発マネジメント論

鈴木 康久・山田 晶子

4年 前期 マネジメント必修 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

アパレル・リテール双方の成長戦略となる「店舗開発」を主題として様々な視点から捉え、基礎的な知識からプロフェッショナル・スキルまでの広範な分野を体系的に学習し、実践力のある人材育成をします。

ストア・ディベロップメントの業務の流れから市場調査・顧客戦略・コンセプト計画・総合計画策定・コンテンツ選定等の理解、更に求められるコミュニケーションスキル・プレゼンテーションスキル・スケジュール管理能力等の醸成をします。加えてストアプランを題材とした実践的な演習を産学連携型で実施していきます。そして企業等の実データによる定量データから定性分析を行いながらストアプラン計画を策定していきます。

担当教員の長年の専門分野（改装プラン策定、中期計画策定、ストアプラン策定、社会潮流変化まとめ等）であり、また業界の実務経験者を教回招聘し、実践的なフォローアップを行っていきます。

## ■到達目標（学修成果）

- ・店舗開発のスキルを多角的に学習しながら、広範なマーチャンダイジングの策定能力の醸成を目指します。
- ・市場調査、マーケット情報収集、更にデータ分析から科学的な店舗開発計画へのアプローチ手法を修得します。
- ・チーム内ディベートを実施しながらプレゼン資料を作成し、全体発表を行いプレゼン力の向上が図れます。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目であり、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。

## ■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	イントロダクション ファッションビジネスにおける店舗開発業務とは	予習：シラバスの確認 復習：配布資料の振り返り	20分
2回	ストア・ディベロップメントの歩みとその形態 ＜事例研究＞社会潮流と国内外の足跡・出店形態	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	20分
3回	ブランドアイデンティティと候補地分析① ブランド～顧客～地域の関係性	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	20分
4回	ブランドアイデンティティと候補地分析② ＜事例研究＞社会潮流とブランドに求められるもの	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	20分
5回	マーケティングと調査分析① 地域・顧客層・競合分析 等	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	20分
6回	マーケティングと調査分析② ＜事例研究＞地域・顧客層・競合分析 等	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	20分
7回	調査分析とプランニング ＜事例研究＞館内の導線、売上高シミュレーション 等	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	20分
8回	店舗設計/内装・手配① 時代性～顧客満足～攻めと守り	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	20分
9回	店舗設計/内装・手配② ＜事例研究＞時代性～顧客満足～攻めと守り	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	20分
10回	ストア・ディベロップメントにおける時代性 持続可能性と企業のミッション	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	20分
11回	店舗開発マネジメント演習① グループワーク（調査～地域顧客層、競合分析）	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	20分
12回	店舗開発マネジメント演習② グループワーク（マーケティング、プランニング）	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	20分
13回	店舗開発マネジメント演習③ グループワーク（店舗設計、スケジュール管理）	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	20分
14回	店舗開発マネジメント演習④ グループワーク（時代性、企業のミッション）	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	20分
15回	店舗開発マネジメント演習⑤ プレゼンテーション 学習内容のまとめ（振り返り、ポイント解説）	復習：講評から、全体観とポイントの整理	20分

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

演習形式のレポート実施（期中・期末）により、学習状況の確認と講評を行ないます。

## ■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	70%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## ■教科書

指定教科書はなし。毎回、学習資料を配布します。授業形態は「配布資料を用いた講義～パワーポイントによる解説～演習」となります。

## ■参考文献

授業に関連した参考文献を随時紹介します。

## ■オフィスアワー・研究室

第1回目の授業で指示します。

## ■備考

毎回、配布する学習資料を持参してください。

授業の進行状況やゲスト講師の都合により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

# ファッションMD 評価システム

長瀬 泰典

4年 前期 マネジメント必修 (2単位 講義)

## ■授業の方針・概要

本科目では、バリューチェーン全体を通してファッション・MDの業務プロセスを評価する手法を、実務・実践型で取り組む。本科目は、ファッション業界において必要不可欠なサプライチェーン全体を俯瞰して捉え、最終消費者へ販売するまでのバリューチェーンの観点でファッションビジネス全体を理解し、外部環境の変化と共に変わりゆく業界をPDCAプロセスで自ら新しいアイデアを産み出す必要性が重要である事を説明する。さらに、ここ数年必要不可欠となりつつある持続可能性な環境経営の目線も加えつつ、将来を見据えた業界標準知識にも触れていく。

## ■到達目標 (学修成果)

ファッション業界をバリューチェーンの視点で捉えMD評価システムの必要性を説明する。その結果、PDCAプロセスを用いて常に変化しながら業務遂行を行う重要性を理解することを到達目標とする。また、激変していくファッション業界の変化をどのように捉え、何が重要であるかを自ら考え行動できる実践力を身につけてもらうことを到達目標とする。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目で、また卒業要件科目です。最終仕上げ段階であり、卒業時に、他の科目と合わせ、ファッションに関する業務を深く理解することができるようにする。

## ■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回	ファッション業界全体の流れをバリューチェーン目線で捉える	予習 バリューチェーンとは何かを調査 復習 ファッション業界のバリューチェーンを整理する	30分
2回	サプライチェーンマネジメントシステムの実態 (上)	復習 サプライチェーンマネジメントシステムを商品との関係性から理解する	30分
3回	サプライチェーンマネジメントシステムの実態 (下)	復習 サプライチェーンマネジメントシステムを商品との関係性から理解する	30分
4回	MDプロセス (企画・計画) の仕組み	復習 シーズンを通じたMDプロセスを理解する	30分
5回	アパレル・商社・OEM・ODMの関係性と業界構成	予習 言葉の定義を調査する 復習 それぞれの役割と存在意義を理解する	60分
6回	アパレルロジスティックスの仕組み	予習 言葉の定義を調査する 復習 消費行動とロジスティックスの関係性を理解する	60分
7回	リテール (小売) システムの歴史と変化	復習 消費者目線でリテールシステムを再考する	45分
8回	グローバルSPAについて	予習 グローバル企業の調査をする 復習 グローバルSPAを説明可能とする	60分
9回	サプライチェーンの課題	予習 8回までの講義を通して自分なりに課題を抽出する 復習 課題をとおして解決策を考える	60分
10回	サプライチェーンテクノロジーの成長	復習 消費者目線でテクノロジー成長を再考する	45分
11回	持続可能性とサプライチェーン	復習 持続可能性とは何かを理解する	45分
12回	アパレル業界と環境経営	復習 アパレルビジネスと環境の関係性を理解する	45分
13回	これからのファッション業界 (上)	復習 消費者目線で未来を考える	45分
14回	これからのファッション業界 (下)	復習 業界目線で未来を考える	45分
15回	まとめ (学生による最終発表)	予習 講義内容の整理と発表の準備	60分

## ■フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

毎回授業終了後に振り返りを学内システムにて提出の上、フィードバックします。

最終授業では各自が授業で学んだ内容の報告を発表する。

## ■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

## ■教科書

必要に応じて授業内でレジュメを配布。

## ■参考文献

必要に応じて、その都度授業内で提示します。

## ■オフィスアワー・研究室

授業時間の前後30分間 講師控え室に待機

## ■備考 なし

## 卒業論文Ⅰ（マネジメント）

鈴木 康久

4年 前期 マネジメント必修 (2単位 演習)

## ■授業の方針・概要

4年間の学習の集大成として本科目が位置付けられます。卒業論文Ⅰでは論文構成や仕組み、企業研究をフォーカスし、教材となるテキストや資料を元に体系的に論文の意義や役割や論文のフレームワーク全般について学びます。

後半より、論題の抽出、論文構成や執筆ポイントや情報収集の手法を学び、学生各々の卒業論文の研究テーマの主題確定をします。一部外部講師を招聘し、卒業論文に対する理解の深化を図っていきます。

## ■到達目標（学修成果）

- 論文構成やその研究展開手法、執筆に向けた先行研究等の情報収集の手法を学びます。
- 学生自身による能動的な取り組みを通じて論理的（ロジカルシンキング）な思考力を醸成していきます。
- 具体的かつ実践的な調査・分析・考察から自身の見解を主張し、ディベートを通じて考え方の深化をはかっていきます。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目でファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。

## ■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション 全体スケジュールや要点の確認、ガイダンス	予習：シラバスの確認 復習：配布資料の振り返り	30分
2回	ファッションビジネス研究① 要約、ポイント確認、ディベート	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
3回	ファッションビジネス研究② 要約、ポイント確認、ディベート	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
4回	ファッションビジネス研究③ 要約、ポイント確認、ディベート	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
5回	ファッションビジネス研究④ 要約、ポイント確認、ディベート	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
6回	ファッションビジネス研究⑤ 要約、ポイント確認、ディベート	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
7回	卒業論文制作の心得についてガイダンス 研究・論文の意義	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
8回	卒業論文の作成指針 ルール確認、ポイント学習	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
9回	図書館の活用について 図書館活用研修、論文検索、資料検索	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	30分
10回	先行研究・過去の卒論調査	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
11回	卒業論文：論題・副論題の確認と発表	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	30分
12回	卒業論文：論題・副論題の確認と発表	予習：次回の課題を指示 復習：配布資料の振り返り	30分
13回	卒業論文：研究計画策定	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
14回	卒業論文：研究計画策定	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
15回	卒業論文：研究計画書のプレゼンテーション	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

担当分野を研究による論点整理、ディベート、企業研究レポート提出、研究計画提出、発表による学習状況の確認を行います。

## ■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	30%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	40%
外部評価・検定試験結果	0%

## ■教科書

指定教科書あり 大村邦年著 「ファッションビジネスの進化」 晃洋書房

また必要に応じ学習資料を配布します。

授業形態は、①課題発表・ディベート、②論文研究計画策定・チェックとなります。

## ■参考文献 授業に関連した参考文献を随時紹介します。

## ■オフィスアワー・研究室 授業開始前1時間、4037教室

## ■備考 授業の進行状況や招聘する外部講師の都合により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

## 卒業論文Ⅱ（マネジメント）

鈴木 康久

4年 後期 マネジメント必修 (2単位 演習)

## ■授業の方針・概要

4年間の集大成として本科目が位置付けられます。卒業論文Ⅱでは、Ⅰに確定した卒業論文主題に対する具体的な研究・調査の推進、制作を遂行していきます。計画に基づいた更なる文献や資料収集、市場調査、企業研究、個別データ収集を行いながら論文制作完成を目指します。

後半より査読を通じた論点の整理、平行しながら論文プレゼン発表の資料制作、プレゼン準備を行いながら最終形にまとめ上げ、具体的にプレゼン発表や展示を行い、個々に制作された論文の多面的な確認・評価を行っていきます。

## ■到達目標（学修成果）

- 論文制作過程全体を通じて、情報収集・調査手法、具体的な論文構成知識や執筆ポイント等の実践的習得を目指します。
- 自主性をもって計画的に目標に向かって制作していく事で、前期に学んだロジカルシンキングの応用力を養っていきます。
- 総合発表に向けた資料作成やディベートを通じてプレゼン力の醸成を図っていきます。

## ■卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。

## ■授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回	オリエンテーション 全体スケジュールや要点の確認	予習：シラバスの確認 復習：各自の課題整理	60分
2回	卒業論文 制作① 調査・研究、個別ミーティング	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
3回	卒業論文 制作② 調査・研究、個別ミーティング	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
4回	卒業論文 制作③ 調査・研究、個別ミーティング	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
5回	卒業論文 制作④ 調査・研究、個別ミーティング	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
6回	卒業論文 中間チェック 提出 ⇒ 査読 ⇒ 修正（PDCA）	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
7回	卒業論文 中間チェック 提出 ⇒ 査読 ⇒ 修正（PDCA）	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
8回	卒業論文 プレゼン計画① プレゼン資料作成、プレゼン準備、進行チェック	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
9回	卒業論文 プレゼン計画② プレゼン資料作成、プレゼン準備、進行チェック	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
10回	卒業論文 プレゼン計画③ プレゼン資料作成、プレゼン準備、進行チェック	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
11回	卒業論文 プレゼン計画④ プレゼン資料作成、プレゼン準備、進行チェック	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
12回	卒業論文：コース内プレゼン・ポイント確認	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
13回	卒業論文：コース内プレゼン・ポイント確認	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
14回	卒業論文：コース内プレゼン・ポイント確認	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	60分
15回	卒業論文：学習のまとめ、全体振り返り、記録	予習：次回の課題を指示 復習：各自の課題整理	30分

## ■フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

企業研究の論点整理、ディベート、企業研究レポート提出、研究計画提出・発表による学習状況の確認を行います。

## ■成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題（プレゼンテーション含む）	20%
期末試験・課題（プレゼンテーション含む）	50%
外部評価・検定試験結果	0%

## ■教科書

指定教科書なし

必要に応じ学習資料を配布します。

授業形態は、①論文制作・検討・確認・修正となります。

## ■参考文献 授業に関連した参考文献を随時紹介します。

## ■オフィスアワー・研究室 授業開始前1時間、4037教室

## ■備考 授業の進行状況やゲスト講師の都合により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。